

1月11日（水）会議後に書面によりいただいた意見は下記のとおりです。

宗政委員

議題（１）についての意見

2014年6月ころに、行政管理課から各委員に改革項目提案書の提出が求められた時に宗政が提案したのですが、資料1-1（4）人事評価制度と連携した人材育成及び給与・人事制度の構築[職員課]という項目に関して再度同じ意見で大変恐縮ですが、考えを述べさせていただきます。

○なんのために

庁内公募を実施することにより、袖ヶ浦市が解決すべき課題に的確に対応し、職員の能力・適正・意向等を最大限に活かし直接職務に反映させる。また、職員のやる気を高め、職員の持つ能力を多様な分野で発揮できるよう人材の有効活用、組織の活性化等を推進する。

○どうするか

市職員庁内公募制度を実施している先進的な市を参考に袖ヶ浦市職員庁内公募制度実施要綱の制定に向け、庁内にプロジェクトチームを設置し検討する。

議題（２）についての意見

[資料2-2]下期取組予定項目一覧に記載されている新規追加事項の中で環境経済部が担当課になっている推進項目名「有害鳥獣対策など農業DXの推進に向けた検討」取組項目名・取組概要「有害鳥獣対策に寄与するICT技術の研究を行い、市内での運用が可能かどうか検討を行う。」となっています。

現状では、耕作放棄地が原因でイノシシが圃場に出現し農作物に被害を与えています。（私自身も下根岸地区の水稻栽培で困っています。）鳥獣被害の現状を踏まえるともう少し現実的な対策を検討する意思を示す表現が必要ではないかと思えます。

農水省でもDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しているようですが、せめても、耕作放棄地の雑草をなくすなど管理を放棄した地権者まかせでなく、地元農業者の理解と協力を得て鳥獣の住みかにならない最低限度の農地管理制度の構築を検討する必要があると思えます。